

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価

－ 平成24年度の実績 －

白鷹町教育委員会

目 次

1. 点検評価の目的等について	1
2. 教育委員会開催実績	3
3. 予算の体系	4
4. 点検評価表	
① 学校教育係	5
② 学校給食共同調理場	8
③ 生涯学習係	10
④ 文化振興係	15
⑤ 生涯スポーツ係	21

教育委員会制度は、市町村長から独立した機関であり、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育事務を執行するものです。

平成20年4月に、教育委員会の組織や運営に関し、基本的事項を定めている地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、毎年各自治体の教育委員会は、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告し及び公表することになりました。

— このような状況を踏まえ、白鷹町教育委員会では、本町における教育行政事務の点検・評価を以下のとおり実施しました。

1. 目的

本町教育行政事務の実施状況について、課題や今後の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図っていくため、教育委員会の事務事業の点検・評価を行う。

また、その結果を町議会に報告し、及び公表することにより、町民への説明責任を果たす。

2. 方法

点検・評価は、白鷹町教育行政一般方針を踏まえ、点検・評価は毎年度1回実施するものとし、前年度の主要な取り組み・重点的な取り組みの実施状況を点検するとともに、課題や今後の方向性等を示すものとする。

今回は、平成24年度に行った主要な事務事業(当初予算の概要で示した事業)についてそれぞれ点検・評価を行った。

※評価の視点

必要性 → (役割分担、町が実施すべきものか。時代ニーズ・町民ニーズを踏まえているか等の視点)

【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果 → (運営方法、コストに見合った効率的な活動等を行ったか等の視点)

【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性 → (施策を実現する手段・利用者に偏りはないか、成果や効果の把握等の視点)

【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性 → (今後の方向性)

【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要
D:廃止・中止 E:完了】

参 考

〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律〉

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○平成24年度 教育委員会開催実績（議題）

委員会開催日	議 案	
4月24日	13	地区公民館分館長、書記の任命について
	14	白鷹町文化財保護審議会委員の任命について
	15	白鷹町図書館協議会委員の任命について
	16	白鷹町障がい児就学指導委員会委員の委嘱について
	17	白鷹町社会教育委員の委嘱について
	18	公民館運営審議会委員の委嘱について
	19	地区公民館運営委員会委員の委嘱について
	20	白鷹町スポーツ振興基金運営委員会委員の委嘱について
	21	白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
	6月1日	22
23		白鷹町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
24		東陽グラウンド人工芝生新設工事請負契約の締結に関する意見聴取について
8月8日	25	白鷹町教育委員会事務局職員の処分について
8月24日	26	地区公民館分館長任命の専決処分の承認について
	27	地区公民館分館長の解任及び任命の専決処分の承認について
	28	白鷹町教育施設使用条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	29	白鷹町スポーツセンター構想の決定について
	30	平成25年度使用教科用図書採択について
	31	鷹山小学校災害復旧工事請負契約の締結に関する意見聴取について
	32	東陽グラウンド人工芝生新設工事請負契約の一部変更に関する意見聴取について
10月1日	33	白鷹町教育委員会教育長の任命について
11月22日	34	白鷹町立小、中学校設置条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	35	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
2月15日	1	平成25年度白鷹町教育行政一般方針について
	2	平成25年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
	3	白鷹町教育委員会事務局職員の懲戒処分について
	4	白鷹町教育委員会事務局職員の処分について
	5	白鷹町教育委員会事務局職員の処分について
	6	白鷹町教育委員会事務局職員の懲戒処分について
	7	白鷹町教育委員会事務局職員の処分について
3月11日	8	平成25年度教職員人事異動の内申について
	9	平成25年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
3月22日	10	白鷹町立小・中学校、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	11	白鷹町教育相談員の委嘱について
	12	白鷹町教育相談員の委嘱について
	13	白鷹町立小学校通学区域外就学について
	14	平成25年度白鷹町教育委員会事務局職員人事異動の内申について
	15	鷹山小学校再編計画の決定について

※その他、協議会、学校訪問、各学校行事、研修会等の参加があります。

○予算の体系と主な取り組み

「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人」の育成

1. 学校教育の充実

- 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり
- 2. 知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成
- 3. 共に白鷹の子どもたちを育てる連携教育の推進

2. 生涯学習の推進

- 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり
- 2. 「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり
- 3. 生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

3. 芸術文化の振興

- 1. 歴史的文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり
- 2. 町史編纂事業
- 3. 文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり
- 4. 文化を介した交流、未来にはばたく人づくり
- 5. 利用しやすい図書館づくり

4. 生涯スポーツの推進

- 1. 健康・生活スポーツの環境整備に努め、心豊かになる人づくり
- 2. スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり
- 3. 安心・安全なスポーツ環境づくり

白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 1. 地域に根ざした、心かよいう白鷹の学校づくり

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	小学校耐震診断事業	<p>【事業概要】 大震災を受け、早急の対応が求められた2校の校舎を実施し、学校生活の安全安心を確保する。</p> <p>【成果】 耐震診断が未実施だった棟のある蚕桑小学校・東根小学校について、今後の安全安心な教育環境整備を進めるため、耐震診断を実施した。その結果、蚕桑小学校の管理・特別教室棟が「耐震性のない建物」と診断された。</p>	8,849	4	4	4	E	町内の耐震診断が必要な学校建物について、すべて診断完了。
2	蚕桑小学校暖房施設整備事業	<p>【事業概要】 ボイラーの老朽化に伴い故障が多く支障をきたしている。FF式暖房器具への更新を図り、快適な学習環境を整備する。</p> <p>【成果】 老朽化したボイラーの更新にあたり、消防法改正により重油地下タンクの維持管理が困難になったため、灯油対応の貯蔵タンクとFF暖房に切替えた。これにより、暖房効果向上と地下タンク管理費用が削減された。</p>	21,980	4	4	4	E	工事完了。
3	スクールバス運行管理等費	<p>【事業概要】 児童・生徒の通学の利便性と安全性を確保するため全町的にスクールバスを運行している。通学6路線分の運行と学校行事や中体連等にも活用する。東根地区の児童生徒の路線バスの定期代も全額負担する。</p> <p>【成果】 学校行事・部活動・熊出没等にも柔軟に対応した。</p>	30,238	4	3	4	A	住民混乗便は1日の平均乗客が2名程度しかなく、効率の面では課題がある。しかし、町内全体の交通網として位置づけているため、安易な変更はできない。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

係名 学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
4	特色ある学校経営推進事業	<p>【事業概要】 地域の学校という位置づけのもと、総合的な学習を通してスポーツ・環境・福祉・農業・キャリア教育など各校の特性をもった体験学習等を行う。小学校費687千円、中学校費497千円</p> <p>【成果】 総合学習や職場体験などの実施に成果があった。 小学校費686,400円、中学校費495,320円</p>	1,182	4	4	4	A	
5	教育研究所運営事業	<p>【事業概要】 教職員相互の調査研究等を行い、教育経営や授業等の実践向上を図る。事業内容の精査を行い、専門部や委員会活動の充実を図るとともに、研究・研修の奨励等を行う。</p> <p>【成果】 全教職員参加のもと、授業を通じた研究・研修を行うことにより、児童生徒の学力向上につながっている。</p>	990	4	4	4	A	
6	地域学校安全指導員配置事業	<p>【事業概要】 スクールガードリーダーを1名配置。通学路の点検・確認、巡回パトロール、見守り隊への指導・助言などを行う。国・県・町それぞれ1/3負担</p> <p>【成果】 1名を配置し、通学時の安全指導を行った。</p>	232	4	4	3	A	国・県の補助要綱では対象日数が45日と限られており、全般的な対応ができないため、拡充が求められている。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 2. 知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	学校生活支援員設置事業	<p>【事業概要】 発達障がい等により授業や集団生活等に適応できない児童生徒の対応や、習熟度別学習にも対応するため、支援員を配置する。</p> <p>【成果】 各学校の事情に応じて学習指導や不登校児童生徒の対応などきめ細かな対応ができた。</p>	13,301	4	4	4	A	待遇面で県非常勤講師と格差がある。
2	教育相談事業	<p>【事業概要】 教育相談員2名を委嘱。不登校児童生徒の対応のため八乙女教室の開催や学校・家庭訪問等の教育相談、学校担当者との教育相談定例会を実施する。</p> <p>【成果】 定例会において助言指導を行った。尚、八乙女教室での対応はなかった。</p>	720	4	4	4	A	
3	英語指導助手（A L T）設置事業	<p>【事業概要】 小・中学校の英語学習の充実と英語に触れる機会を増やすため英語指導助手を委託。</p> <p>【成果】 民間事業者に英語指導助手業務を委託し、中学校英語教育の充実を図った。また、小学校での外国語活動にも対応し、英語への慣れ親しみ、興味・関心を高めることにつながった。</p>	4,673	4	4	4	A	

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要・C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 2. 知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

係名 学校教育係

事業No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
4	中学校教科用図書及び指導書給与事業	<p>【事業概要】 新学習指導要領の全面実施に伴い、中学校の教科書改訂が行われ、教師用教科書・指導書を給与する。準教科書・副読本の購入も含む。</p> <p>【成果】 4年に1回の改定に伴うもの。必要部数を購入し給与した。</p>	5,205	4	4	4	A	
5	要保護及び準要保護児童等への支援事業	<p>【事業概要】 経済的に困難な状況にある世帯の児童生徒について学用品費や修学旅行費・給食費など就学援助を行う。小学校3,126千円、中学校費2,580千円</p> <p>【成果】 実人数54名に就学支援を行った。 小学校費2,376,973円、中学校費1,434,391円</p>	3,812	4	4	4	A	
6	情報教育推進事業	<p>【事業概要】 学校ICTを活用して情報教育を推進する。システム管理等をアルカディア財団に委託する。小学校費2,614千円、中学校費1,599千円</p> <p>【成果】 情報システムのトラブル等に対応できた。 小学校費2,302,365円、中学校費1,487,666円</p> <p>【事業概要】 町内小中学校への給食の提供及び調理場施設の維持管理と食器の更新。</p> <p>【成果】 食器トレイを更新した。</p>	3,791	4	4	4	A	
7	学校給食共同調理場費		19,619	4	4	4	A	

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 3. 共に白鷹の子どもたちを育てる連携教育の推進

係名 学校教育係

事業 No	事業名	事業概要及び成果	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	1 学校再編整備事業	<p>【事業概要】 中学校統合に向けた具体的な事項について、地域・保護者・学校の代表者等により話し合いを進めます。また、複式学級のある小学校について地域の方々と話し合いを始めます。</p> <p>【成果】 平成27年4月の統合中学校開校に向け、中学校整備及び校舎耐震補強工事の実施設計を行った。また「平成27年4月、鷹山小学校荒砥小学校に統合する」とした鷹山小学校再編計画を町長に提出した。</p>	30,287	4	4	4	A	
2	2 小中連携推進事業	<p>【事業概要】 中学校進学に伴う生活面や学習面の課題の解消に向け、小学校と中学校が連携し、子どもたちが安心して学習できる環境整備と学力の定着・向上を図る。</p> <p>【成果】 児童生徒の発達課題に対する研修を行い、円滑な接続への学習指導等を学んだ。</p>	50	4	3	4	C	平成25年度より教育研究所運営事業で対応。
3	3 荒砥高等学校活性化事業	<p>【事業概要】 荒砥高校のキャンパス制の導入と総合学科改編に向けて、中学校との連携強化や魅力ある学校づくりのため支援を行う。</p> <p>【成果】 中学生一日体験入学による入学者増加活動、地元企業見学や字要求学校見学による個々の生徒に応じた教育の充実、ボランティア活動による地域貢献等に取り組んだ。</p>	300	4	4	4	A	

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果	有効 性	方向 性	改善点/課題等
1	成人式開催事業	<p>【事業概要】 白鷹町の将来を担う青年の、二十歳の節目を町をあげて祝い、大人としての自覚を促し、積極的な町づくりへの参画に繋げる。町内在住、町内出身の成人者を対象として8月15日に開催する。</p> <p>【成果】 24年度は200名を対象。実行委員会を組織することで、成人者が自主的に成人式・成人祭に関わることができた。今後も実行委員会での開催を継続していきたい。</p>	333	4	3	4	A	受付けから開会までスムーズに展開されるよう時間厳守、受付の効率的な業務に勤める。
2	白鷹学講座開催事業	<p>【事業概要】 地域の社会力や文化力の向上、自ら学び考え、問題を解決する力を養うため、子どもから大人まで生涯各期にわたる学習機会、生涯学習の場の提供を図ること。</p> <p>【成果】 ①田勢康弘講演会4/21、②食育・文化伝承を学ぶ映画&トーク6/17、③地域の歴史・民俗学講座「山口地区」9/1、④食育・子育て講演会11/16、⑤三遊亭亜弥郎のミュージカル落語 計年5回 参加者延べ547人</p>	726	4	3	4	B	参加者の満足度は、おおむね好評価であった。ただし、参加者数の目標は達成できず、町民への周知方法や20代、30代が興味を持つプログラムを研究する必要がある。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習係

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
3	家庭教育推進事業	<p>【事業概要】 家庭での教育が重要であることを考慮し、家庭の教育力向上を目指すもの。</p> <p>【成果】 1.就学時健診や入学説明会等を利用し、保護者に子どもとの関わり、事例を交えた講演で、保護者には有効な学習機会となった。2.郷土料理教室参加者数の目標値が30名に近づいているが、調理室定員は20名。それに対して29名の参加者となった。郷土料理を作り、食すことで改めて食文化の大切さを感じてもらえた。3.株式会社ニクニとサンファームしらたかにて開催。4.幼児教育ふれあい広場事業 あらと保育園で公開講座を開催</p>	116	4	3	3	A	限られた時間のため、グループワーク等の広がりを持たせることができない。また親だけでなく、祖父母にも同様の機会がほしい。就学児健診や入学説明会だけでなく、PTA研修会等でも利用できる旨、学校への依頼・連絡調整を図る。
4	学校支援地域本部事業	<p>【事業概要】 「地域の教育力の向上」や「多様な形態の教員支援」などを目的に、西中学校区において実施。「地域コーディネーター」1名を設置し、コーディネーターを中心にボランティアの取りまとめなどを行わないが地域全体で学校を支援する体制の構築を目指す。平成21年度の9月から取り組んでおり4年目を迎える。国・県3分の1ずつの補助事業。</p> <p>【成果】 本事業に取り組んだことにより、これまでなかなか取り組むことのできなかつた分野である学習環境の整備など、環境面で大きな成果を上げていると共に、ボランティア活動を通して地域と学校の融合・連携の深まりが感じられる。</p>	981	4	3	3	A	いかに地域住民の方にボランティアとして協力してもらえぬかが課題。事業が地域に浸透するよう周知が必要である。また、ボランティアを組織化することで、小学校とも連携した事業へとする取り組みも行っていきたい。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習係

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
5	小中学生交流事業	<p>【事業概要】 将来を担う子どもたちの人材育成を目指し、町内外での交流プログラム。24年度は、中学生を対象とし新潟県長岡市栃尾地区とのスポーツ交流を実施。</p> <p>【成果】 白鷹町の東西中学校野球部の生徒と栃尾地区の2つの中学校野球部の交流事業を栃尾地区を会場に実施された。野球の交流試合を行うとともに、互いの学校の活動発表なども行われ姉妹都市としての充実した交流が図られた。</p>	294	3	3	3	B	震災の影響があり、当初の計画内容を変更して開催したため、準備期間が短くPR不足となってしまった。開催時期やPR方法について再検討する必要がある。
6	成績優秀者激励金交付事業	<p>【事業概要】 町内在住の小中高校生の一層の活躍と将来の白鷹町を担う人材としての健全な成長を期待するもの。文化・芸術、スポーツ等の分野で、全国レベルの優秀な成績を収めたときに、町から個人1万円、団体1人当り1万円(5万円上限)で報奨金を授与する。</p> <p>【成果】 24年度はスポーツ部門 23人 に奨励金を交付した。</p>	115	3	3	3	A	以前は、スポーツ部門のみスポーツ振興基金からの交付であったが、この事業により初めて文化部門で活躍する児童生徒を称賛することができた。今後も継続して実施すべきものである。尚、大学生や一般にも拡大してほしいとの要望があり検討が必要。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 2. 「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり

係名 生涯学習係

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	協働のまちづくり交付金	<p>【事業概要】 住民による主体的な公民館運営を目的に、生涯学習の実践の場となる地区公民館の管理や事業費として交付する。この交付金により、講座や教室など特色ある事業の実施や分館活動の事業助成を行っている。</p> <p>【成果】 地域づくり事業として公民館まつり、新春交流会、研究会が各公民館で開催され、運営委員・分館長・書記等が積極的に関わり、地域づくりの拠点としての活動が行われた。また、各世代を対象とした講座が開催され、学びの機会の提供が積極的に行われた。</p>	19,333	4	3	3	B	それぞれの地区公民館において、それぞれ個別の課題があり、情報の共有を図りながら課題解決に向けていく必要がある。また、町長部局において地区公民館のコミュニティセンター化が計画されており、生涯教育の拠点としてスムーズな移行が必要である。
2	放課後子どもプラン推進事業	<p>【事業概要】 子ども達が地域社会の中で心豊かですこやかに育まれる環境づくりを推進し、安全、安心な活動拠点(居場所)づくりとして、小学校施設や公民館施設等を活用し、地域の方々との協力を得て「放課後子ども教室」を実施し、スポーツや文化活動、地域住民との交流活動を行うことを目的としている。</p> <p>【成果】 24年度も、蚕桑と鷹山小学校を対象とし、それぞれ地区公民館に事業を委託して実施した。</p>	981	4	3	3	B	蚕桑と鷹山以外に地区で取り組みについて、検討が必要。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 3. 生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

係名 生涯学習係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	分館施設整備補助事業	<p>【事業概要】 各分館で実施される施設の建設や修繕などの事業に対する補助事業。「地区公民館分館施設整備費補助金交付規程」に基づき、総事業費10万円以上の事業に対し、次の補助率を基準に予算の範囲内で補助金を交付。 補助率等 新築:30%以内(限度額300万円) 増・改築、修繕:30%以内(限度額30万円) 備品購入等:20%以内(限度額10万円) 【成果】 実施分館 12分館 補助金の額 1,547千円 内容 屋根塗装、畳替え、外壁改修等</p>	1,547	4	4	4	A	分館整備は、地域住民の自己負担も伴うため、計画的に実施されている。また、本制度を活用して新築をすることも可能であるが、補助上限が300万円であることから活用実績がない。実態に合った交付規程整備が必要と思われる。
2	中央公民館費	<p>【事業概要】 中央公民館の維持管理等に要する費用。 【成果】 町民の自主的な学習活動の場として、施設の利用しやすい環境づくりに努めることができた。</p>	14,304	3	2	3	A	施設が老朽化し、修繕箇所が年々増加している状況のなかで、いかに安全性を確保し、適切に施設を管理しているかが今後の課題である。
3	地区公民館耐震診断 事業	<p>【事業概要】 白鷹町防災計画で避難所に指定されている地区公民館施設の安全性を確保するため、建築基準法改正前の昭和56年以前に建築された施設である①蚕桑旧館②東根旧館③鷹山の各地区公民館について耐震診断を実施した。 【成果】 蚕桑旧館及び東根旧館が耐震度不足と判定された。鷹山地区公民館の耐震度は基準を満たしていた。</p>	5,215	3	3	3	E	適正に診断が完了した。今後も、適正管理に努め計画的に施設の維持工事を実施する。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

中項目 1. 歴史的文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり

係名 文化振興係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	文化財保護対策費	【事業概要】 指定文化財(国・県・町)の保護活用及び管理事業の実施。 【成果】 文化財保護審議会を2回開催、文化財に関する検討、カモシカの死体処理や保護対策を実施。国指定文化財は国や県と、県指定文化財は県の支援を受け保護対策事業を実施。町指定文化財の保護対策事業を実施。	1,054	4	4	4	A	文化財の保護対策を実施するため、国や県などの支援が欠かせない。また、相当の地元負担を要するため、支援の拡充を求めていく必要がある。
2	文化財保護調査事業	【事業概要】 文化財の保護、管理、調査の実施。 【成果】 文化財の計画的な調査と保護を行い町民の誇りである文化遺産を守り継承していくため、小四王原遺跡の保護管理、樹木医による古典桜の巡回指導を実施。文化財や文物的資源は所有者や管理者から状況把握を行い良好な保存・管理に努めた。	44	4	4	4	A	祖先が守り伝えてきた文化的資源の専門的な調査を行う調査員の確保が難しい。
3	白鷹町史編さん事業	【事業概要】 町史編さんに係る事業の実施。特に白鷹町誕生後のおよそ60年間の歩みと実績について「白鷹町史・現代編」として、平成26年刊行目標に編さんを進める。 【成果】 町史編さん室長と職員1人により史料収集整理作業を実施。編さん委員会と編集委員会を組織し事業内容の決定。執筆者を選し執筆作業を進めた。	6,523	4	4	4	A	計画的に事業が進められるよう進捗管理が必要である。執筆者からの原稿を元に、全体の文書構成に配慮し、遅滞なく編さんを進める。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

中項目 2. 文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	芸術文化振興(芸術祭)事業費	<p>【事業概要】 町芸術文化協会との連携により芸術祭を行う。芸術の発表を通して芸術文化の振興と生きがい作りの創出を図る。</p> <p>【成果】 ①公演部門：おんがく祭(小・中・高校生他)、芸能まつり、謡曲発表 ②展示部門：写真・絵画・書道・盆栽・生花・茶席芸術祭を11月2日～11月4日までの3日間、会場は文化交流センター「あゆ一む」で町芸術文化協会との連携により開催する。少年少女合唱団、小・中・高校生によるおんがく祭、謡曲発表、芸能まつり、茶席、書道・俳句展・防火ポスター展・絵画・華道・写真・一般作品等展示を行った。町民の皆さんへ周知するためにプログラムに向け、荒砥地区内とあゆ一む間でバスの運行を行った。芸術・文化活動を発表する貴重な機会となった。</p>	622	4	4	4	A	芸術文化の振興のため今後とも継続した開催となるように努める。ホール席数や舞台の高さ・設備など鑑賞者と出演者をいかにしたら満足させられるかなど、参加者の拡大に向け開催内容の工夫に努める。
2	芸術文化鑑賞(山響演奏会)事業	<p>【事業概要】 文化による町づくりを推進するために、山形交響楽団による演奏会を開催する。</p> <p>【成果】 12月23日、あゆ一むで開催した。この演奏会はハーモニココンサート実行委員会が企画から会場準備等までの全ての業務を実施している。演奏曲目も直接山形交響楽団と交渉し手作りの演奏会となった。交響楽を演奏するには会場は狭いが、お客様には音がとても良かったというようなお褒めの言葉もいただいた。</p>	830	4	4	4	A	交響曲を生演奏を聴くことが出来る貴重な機会であることから、継続した開催を目指す。入場者を確保するため、開催内容の工夫に努める。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

中項目 2. 文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
3	伝統芸能保存伝承事業	<p>【事業概要】 「高玉芝居」の保存継承と、鑑賞の場を提供するため定期的な公演を開催する。</p> <p>【成果】 2月11日、さくらの里文化伝承館で開催した。PRチラシを作成し、桜の里づくり推進委員会の協力を得ながら蚕桑地区全戸に配布しチケット販売を行った。前売券販売は昨年度より約60枚多かった。町指定の無形文化財である高玉芝居を定期的に公演することにより多くの方々にご覧いただくと共に、出演する場をつくることにより後継者の育成をも図ることができる。</p>	150	4	4	4	A	場内の飲食禁止をしているが、多くの人(子ども達などを含む)に鑑賞していただくためには、館内においては飲食は慎重にすべきである。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

中項目 3. 文化を介した交流、未来にはばたく人づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効 性	方向 性	改善点／課題等
1	文化交流センター管理 運営事業	<p>【事業概要】 「文化・交流・人づくり」によるまちづくりの拠点施設として整備された白鷹町文化交流センター「あゆむ」の管理運営を指定管理者に委任する。</p> <p>【成果】 町民自らが担い手となり創造的で多様な芸術文化活動を促進するため、事業企画委員会参加の自主事業として、梅津五郎氏常設展、仏像展、「あゆむ祭」及び各コンサートを実施。町芸術祭や各展示会等貸館事業の実施。利用者数等毎月の運営状況を確認した。指定管理者の努力があり、交流人口は順調に伸びてきている。交流人口の拡大のため、広報活動等により指定管理者を側面から支援を行った。</p>	33,875	4	4	4	A	運営状況や利用者数等の把握に努め、広報活動等支援を行い、さらなる交流人口の拡大と定着を目指す。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

中項目 4. 利用しやすい図書館づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	読書感想文コンクール 開催事業	<p>【事業概要】 広く町民から読書感想文を募集し優秀な作品を讃えようと共に、未来を担う子供たちが本を通して自己を見つめ将来に向かっどどのように進んで行ったらいいのか試行錯誤する場の提供と、読書力の向上を推進する。平成20年度からは特別賞として童門冬二賞も設けている。</p> <p>【成果】 学校教育が忙しい中において先生方にも負担をかけている部分はあるが、子どもたちが本を読み読書感想文を書くことを通し自己を見つめめるきっかけになればということを実施した。入選者による作品集も作成し、学校などにも配布した。学級数の減などにもよるが応募者数は55点だった。</p>	154	4	4	4	A	課題図書を読んだ感想文が多く、いろいろなジャンルの本を読んで感想を書かせたい。作品によっては、あらすじと感想の繰り返しだったり、自分の体験部分が多かったりあったりするものもあつた。等審査員より指摘があつた。子供も多忙になつてきているがじっくり読書をする機会ととらえてコンクールを継続して実施したい。例年一般の応募者は少なく、いかにしたら応募してもらえるかが課題である。
2	お話の会運営費	<p>【事業概要】 毎月第1土曜日午前10時から図書館の児童コーナーで子ども達の夢と豊かな心を育むため読み聞かせ・語り・伝承遊びなどをしながら読書啓蒙活動を実施する。また、読み聞かせボランティアを養成するために読み手育成実技講習会を開催する。</p> <p>【成果】 おはなしの会は白たか子ども本の研究会・荒砥高等学校の図書委員の協力をいただきながら開催した。参加者数もその月により違つた。通算すると平成25年3月の開催で311回を迎えた。毎回、子どもたちの笑顔が見られた。折り紙を加えたことにより年配のかたも増えている。8月1日から5日まで、おはなしの会300回記念イベント(大型絵本大集合、角野栄子作品展、昔話語りと昔の遊び、夜のおはなしの会、夜空観察、角野栄子講演会)を開催した。</p>	72	4	4	4	A	ボランティアの協力により20年以上も継続している事業である。ただ、児童コーナーが狭いため、おはなしの会で閲覧室のスペースがとられてしまう。以前は子どもたち同士が誘い合いながら参加していたが、今は保護者と一緒に参加が多い。また、子供たちも年中忙しそうに参加する人も少なくなつている。継続して読み聞かせ等を通じ、本に触れ合うきっかけづくりは必要である。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

中項目 4. 利用しやすい図書館づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
3	図書館情報システム運営事業	<p>【事業概要】 図書資料のデータベース(資料を組織的に整理統合)化を行い資料検索・貸出・返却機能の迅速化を図る。また、最新の書籍情報から検索と購入手続きを行う。</p> <p>【成果】 図書資料のデータベース化と最新の書籍情報から購入手続きにより、速やかに利用者に図書を提供ができるようになった。図書館の利用状況は、1日平均の貸出冊数は97冊、利用者は29人、来館者数は43人となった。(前年度:貸出冊数は94冊、利用者は28人、来館者数は43人)</p>	524	4	4	4	A	迅速に利用者へ図書を提供できるよう、図書資料データベースと最新書籍情報から購入するシステムの運用を行う。引き続き、利用者の声を聞き利用しやすい図書館運営に努める。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 4. 生涯スポーツの推進

中項目 1. 健康・生活スポーツの環境整備に努め、心豊かになる人づくり

係名 生涯スポーツ係

事業No	事業名	目的及び事業内容<成果>等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	第47回白鷹若鮎マラソン大会開催事業	【目的及び事業内容】 9月16日(日)日本陸連公認第8553号コースで開催する。毎年約900名の参加者が各種目により競技する。 【成果】 招待選手にエリック・フナイナ選手を招き、989名が参加。スポーツ振興くじ(toto)助成金1,017千円を受け実施。	1,204	3	3	3	A	* 体育協会、町陸協等に委託できるのが理想であるが、それぞれ職員がいるわけでもなく当面困難である。 * 開催時期の検討。(涼しい時期に)
2	町誕生58周年記念地区対抗駅伝競走大会	【目的及び事業内容】 白鷹町誕生58周年を記念し10月7日(日)白鷹町1周コースで開催する。 【成果】 各地区6チームが参加し、大会を実施。競技力向上、スポーツ振興向上の意識の醸成に寄与した。鷹山地区が優勝。	426	3	3	3	A	* 各地区選手の選出に苦慮している。 * 開催時期の検討。(秋でスポーツ行事の多い時期で、小中生の選出に苦慮している)
3	白鷹町総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	【目的及び事業内容】 総合型地域スポーツクラブ支援の育成支援を行う。スポーツ振興くじ(toto)助成金。クラブマネージャー2名を雇用し、活動がより活発になるように支援して行く。 【成果】 会員145名(昨年92名)。7コース開催。他、夏キャンプ、冬キャンプ、ロックアステihal等を開催した。	5,749	3	3	3	A	* 5年間予定だがその後の財源が課題。 * 会員数や財源が課題。 * 年間通して毎週指導しているかたの負担が課題。 * どこまで活動することが理想なのかわからない。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 4. 生涯スポーツの推進

中項目 2. スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり

係名 生涯スポーツ係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果対	有効 性	方向 性	改善点／課題等
1	白鷹町スポーツ振興基金事業	【目的及び事業内容】 スポーツ振興基金運営委員会の決議に基づき、競技力向上対策事業、スポーツ団体の育成、健康づくり推進事業等を実施する。 【成果】1. 競技力向上対策事業、2. 町体育協会活動助成事業、3. 各競技団体選手育成事業、4. 町スポーツ健康づくり普及事業、5. 体育指導委員会活動助成事業、6. スポーツ少年団育成事業、7. 町スポーツ夢タウン創造事業を実施した。	2,400	3	3	3	A	* 体育協会加盟の競技団体の寄付額の割合に依り配分しているが、配分率が課題。(少ないところで4000円、多いところで23万)

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 4. 生涯スポーツの推進

中項目 3. 安心・安全なスポーツ環境づくり

係名 生涯スポーツ係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	体育整備施設費	【目的及び事業内容】 生涯スポーツ所管の施設運営管理費。スポーツ公園、袖パーク、東陽グラウンド、スキー場等。 【成果】 ペアリフトについては、13年が経過し、次年度も計画的な修繕を行う。	42,085	3	3	3	A	* スキー場はリフトの改修が課題。 * 野球場、ソフト場は塗装が剥がれていたりするところやフェンスがさびびっていたりするところがある。ソフトフェンスは更新が必要である。
2	東陽の里グラウンド改修事業	【目的及び事業内容】 都道府県フットボールセンター整備助成及び日本スポーツ振興くじ(toto)助成を受け、東陽の里グラウンドの人工芝生 化、照明改修等を行う。 【成果】 町内外を問わず広い世代の方々から、サッカーに限らず、様々な用途で活用いただいている。	151,107	3	3	3	A	* 駐車場が課題。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
 有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
 費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
 方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 E:完了】

